



▲雨水タンク

雨水タンク ぜひ普及、推進を

答弁：考えていない

吉田 雨水タンクの効用用途について、どのような認識をお持ちか。
町長 節水の観点、渇水時に有効と認識しているが、雨が降り始めてしばらくすると満タンになり



吉田 大作 議員

その後降った雨で水害、洪水となり、その役は果たさないと考える。
吉田 節水、渇水に有効で、洪水には容量は決まっています。一時期にダイレクトに川に流れる水をストックできる一石三鳥の役目を担える。何よりエコと環境、水問題に関する意識が高まると思う。

雨水タンク設置への補助、助成金を全国で3割以上の1都2府16県で実

施している。前向きに考えてほしい。
町長 費用対効果も含めこの事についての支援は考えていない。
過去にも同じ提言があったが検討の結果そこまで至っていない。



二宮 美津代 議員

基金の活用

子どもたちを海外に

答弁：今の時代困難な状況

二宮 国際交流基金を活用し、継続的に子どもたちを海外に派遣する事業ができないか。
町長 異文化に触れ、国際性を持つことは大事だが、今の時代継続的な事業の展開は困難である。

二宮 「高齢者虐待防止法」につき「障害者虐待防止法」が成立。地域における効果的な

広域で虐待防止の整備を答弁：協議し進めていく

二宮 「まちづくりは人づくり」とされる町長の考えを今の時代だからこそ活かすべきでは。
町長 子どもたちを取り巻く教育的環境が相当変わっておりむしろかしい。

二宮 子ども・高齢者・障がい者への虐待防止・配偶者からの暴力の防止(DV)も含め、効果的体制の整備を求める。

二宮 「まちづくりは人づくり」とされる町長の考えを今の時代だからこそ活かすべきでは。
町長 条例の一本化への検討と、広域連携による虐待防止センターの対応など、糟屋地区市町長協議会で協議し進めたい。



▲志免町基金条例



▲メガソーラー大牟田発電所全景

再生エネ

再生エネ推進宣言を

答弁：取り組みを進めたい



古庄 信一郎 議員

古庄 震災原発事故後、電力不足も深刻な問題だ。明治以来、化石燃料の石炭で繁栄をして来た志免町だからこそ「再生エネルギー推進都市」宣言を行い、町民皆で考え、出来る事をやるべきだ。

住宅用太陽光発電への町補助、焼却場跡地、ボタ山等へのメガソーラー誘致等々、研究すべきだ。
町長 取り組みを進めるが、町を挙げてその方向性になればありがたい。

法の指針では「6.5分以上に放水」と規定されている。また救急の出動時間は平均9.8分。全体平均より1.8分到着が遅く救命率に影響する重大な問題だ。御手洗、別府地区に南部消防署支署の新設をすべきだ。
町長 各町の町長で構成する消防署運営協議会で協議したい。

北部に消防支署新設を答弁：協議会で協議する
古庄 南部消防署から、御手洗・別府地区への消防出動放水まで14〜15分かかっている。

園児に英語

羽ばたけ世界へ

答弁：総合的に議論と検討



牛房 良嗣 議員

牛房 町内には15の保育園、幼稚園があり、2千人もの園児が通っている。行政は英語の学習を希望するところへ、実験期間を3年とし、英語講師代(年間60万円)と教材代

を支援し成果を検証、方向性の判断を。
町長 国の方向性を見て総合的に検討したい。

牛房 国際化社会が進む中、幼児期と小学校の低学年から英語を学習させるのは常識であり、園児たちの夢と希望をかなえるのは、町長や議会の役割である。
町長 幼児教育に携わる皆さんの観点から検討。

副町長のやりたいこと答弁：地域ぐるみ子育て
牛房 副町長のやりたい事は。
副町長 住民の視点を大切に課題に取り組む。
子どもは社会の宝、夢や、志がかなえられる地域ぐるみの子育てを推進。
牛房 朝来たら全課のカウンターに「おはようコール」の実践を。



▲武藤副町長就任挨拶